

## 令和3年度榎葉町原子力施設監視委員会 福島第一原子力発電所に関する要確認事項（案）

## ■基礎的な確認事項

項目	要確認事項	
原子炉内の冷却状況	1～3号機 * 温度の推移、冷却系停止時の温度上昇予測（1時間当たり温度上昇）、制限温度到達までの時間 * 再臨界のリスクとその対応（従来からの変更点があれば）	
使用済燃料の冷却状況	1～2号機使用済燃料プール 5～6号機使用済燃料プール 共用プール	* 使用済燃料の保管量、冷却系停止時の温度上昇予測（1時間当たり温度上昇）、制限温度到達までの時間
	キャスク仮保管設備	* 使用済燃料の保管量 * 警報等の発出状況とその原因
	放射性物質の放出状況	原子炉建屋からの放出 * 各号機建屋からの新たな放出の状況（敷地境界モニタリング結果） 海洋への放出 * 港湾内外の海水モニタリング結果
緊急時対応能力	* 緊急時対応訓練の実施状況、規制庁の評価結果等 * 緊急時用資機材等の導入等（従来からの変更点があれば）	
要員確保・作業環境改善	* 作業要員の確保状況、作業環境の改善状況（従来からの進展等があれば） * 新型コロナウイルス感染症拡大の影響、対策の実施状況	

## ■廃炉工程の進捗に伴う確認事項（昨年度の項目をベースに内容を現状に合わせて修正）

項目	●最近の状況 ○今後の予定	要確認事項
使用済燃料プールからの燃料取り出し	1号機 ●大型カバーを設置するため、干渉する建屋カバー（残置部）の解体が完了。 ●使用済燃料プールへのガレキ落下防止・緩和対策が完了。 ○2021年9月に大型カバー設置工事に着手し、2023年度頃に設置完了予定。 ○2027～28年度に燃料取り出し開始予定。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応（特筆すべき事項があれば）
	2号機 ●プール内調査を実施し、燃料取り出しに支障となるような状況がないことを確認。 ●燃料取扱設備の設置を進めるにあたり干渉する残置物搬出作業が完了。 ○2024年度～2026年度に燃料取り出し開始予定。	
	3号機 ●2021年2月、取り出し完了。	-
	4号機 ●2014年に取り出し済み。	-
	5/6号機 ●5号機1,542体、6号機1,654体の燃料保管中。 ●6号機新燃料解体・除染作業を実施中（?）。 ○2031年以内に、燃料取り出し完了予定。	* 新燃料搬出の予定、及び想定されるリスクとその対応
燃料デブリ状況把握・取り出し工法検討	1号機 ●2020年11～12月、注水停止試験を実施し、異常なし。 ○原子炉格納容器内の干渉物切断作業を実施予定。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	2号機 ●2020年8月、注水停止試験を実施し、異常なし。 ●原子炉格納容器内部調査、試験的取り出しに向けた格納容器内堆積物調査を実施。 ○2021年以内に試験的取り出し開始予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により遅延。開始時期の遅延を1年程度に留められるよう努める。	
	3号機 ●2021年4月、注水停止試験を実施し、異常なし。 ●原子炉格納容器水位の段階的低下に向け、サブプレッションチェンバ（S/C）内包水のサンプリングを実施。S/C内包水は現状の汚染水処理設備へ移送可能な見込み。	
汚染水対策	建屋滞留水処理 ●2020年12月に1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く建屋内滞留水処理を完了。 ○原子炉建屋については、2022～24年度に滞留水量を2020年末の半分程度に低減予定。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	ALPS処理 ●2021年4月、「多核種除去設備等処理水の処分に関する政府の基本方針を踏まえた当社の対応について」を公表。 ○汚染水浄化処理過程で発生する廃棄物のリスク低減等に向け、高性能容器（HIC）に収納されている廃棄物の安定化処理を実施予定。実施計画変更認可申請中。	* 処理施設の稼働状況、これまでの処理量・今後の処理見込量 * ALPS処理水（トリチウム水）の今後の取扱いに関する現状の検討・協議状況
	汚染水発生抑制 ●建屋の屋根雨水対策を進めており、3号機タービン建屋屋根対策が完了。 ●汚染水発生量は約140m <sup>3</sup> /日（2020年度）に低減。 ○2025年以内に汚染水発生量100m <sup>3</sup> /日以下に抑制する計画。	* 大雨時の汚染水発生状況、その対応状況 * 流入経路の抽出・対策の状況
	フランジタンク解体・リブレス ●フランジ型タンクの解体進捗中。	* 全フランジ型タンクに占める解体の進捗状況・今後の解体予定
廃棄物対策	●増設雑固体廃棄物焼却設備の設置工事を実施中。 ○2022年3月に設備竣工、運用開始予定。	
その他	1/2号機排気筒 ●2020年4月、排気筒上部の解体工事を完了。	-
	津波対策 ●2020年8月、メガフロート着底完了。 ●2020年9月、千島海溝津波防潮堤の設置完了。 ○メガフロート着底後の護岸及び物揚場としての有効活用開始に向けた護岸整備工事・盛土工事を、2021年度内完了を目標に実施。 ○日本海溝津波の新たな評価（2020年4月）を踏まえ、「日本海溝型津波防潮堤」を2021～23年度にかけて新設。	* 津波対策の計画・進捗状況
	当番運転員体制 ●免震重要棟に常駐する当番運転員の体制を7人編成から4人以上に変更。	* 体制変更の影響